

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度 技術情報第6号（水稻海外飛来性害虫）について（送付）

水稻海外飛来性害虫の飛来状況等について、下記のとおりとりまとめましたので送付します。

平成19年度 技術情報第6号

本年も6月第3半旬以後、水稻海外飛来性害虫のウンカ類（セジロウンカ・トビイロウンカ）やコブノメイガの飛来が断続的に認められ、その飛来状況等について、以下のとおりとりまとめたので、今後の発生動向に注意の上、適切な防除に努める。

- 1 対象病害虫 セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガ
- 2 対象作物 普通期水稻
- 3 飛来状況

(1) 主な飛来日と飛来量

主な飛来日	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ
6月14～16日	少	少	少
6月22～27日	少	少	少
7月3～8日	中	中	多

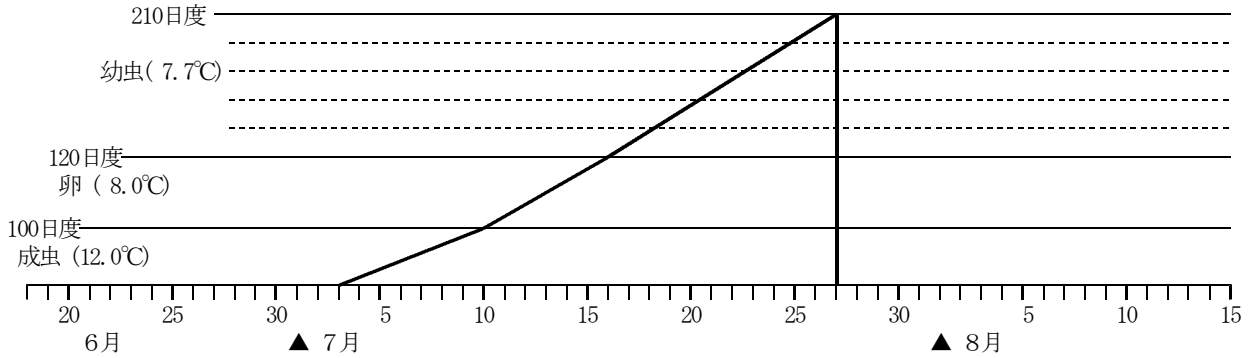
(2) 予察灯等による誘殺状況（鹿児島県農業開発総合センター内：南さつま市 金峰町）

日	セジロウンカ				トビイロウンカ				コブノメイガ	
	60W電灯(水田)		シヨソソントラップ ^o		60W電灯(水田)		シヨソソントラップ ^o		ブルーライトトラップ ^o	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
6/11	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	40	0	13	4	0	0	0	0	0	1
15	38	6	9	0	0	2	0	1	1	2
16	53	2	22	0	0	0	1	0	0	4
17	26	↓	2	8	0	↓	0	0	0	4
18	3	83	0	0	0	6	0	0	2	0
19	2	2	1	2	0	0	1	1	2	0
20	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0
21	3	0	0	0	0	2	0	0	↓	0
22	60	0	↓	1	0	1	↓	1	↓	0
23	55	12	35	6	0	1	1	3	0	0
24	4	↓	96	12	0	↓	0	1	0	3
25	56	28	117	7	1	6	0	0	0	0
26	67	0	27	5	5	0	0	0	0	↓
27	22	31	21	22	1	1	0	0	0	↓
28	6	125	6	2	0	4	0	1	0	5
29	2	24	11	3	0	2	0	2	0	2
30	17	11	↓	4	4	8	↓	0	↓	0
7/ 1	2	1	7	1	0	1	0	0	7	0
2	1	437	5	231	0	9	1	5	1	0
3	141	1585	149	57	27	5	9	2	12	0
4	19	10	66	33	2	1	2	2	6	0
5	58	9720	13	1064	3	329	0	99	34	2
6	2	872	10	16	1	121	1	2	9	12
7	90	401	38	41	10	24	1	0	12	10
8	95	169	8	21	7	8	1	0	36	213
9	18	59	7	13	2	2	0	0	522	4
10	53	29	10	1	0	1	2	0	6	127

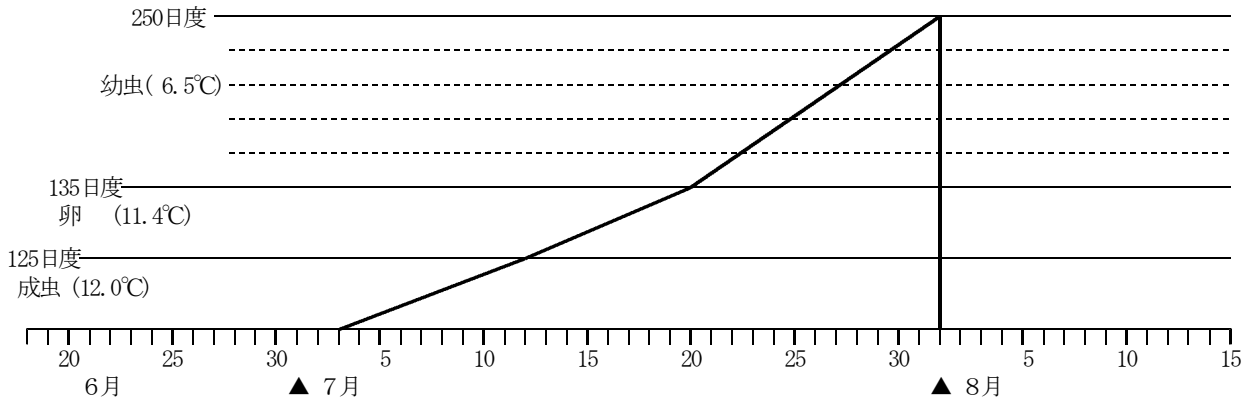
水稻海外飛来性害虫の有効積算温度による发育経過予測 (鹿児島地方气象台：鹿児島のデータを使用)

鹿児島県病害虫防除所 2007年7月11日 作成

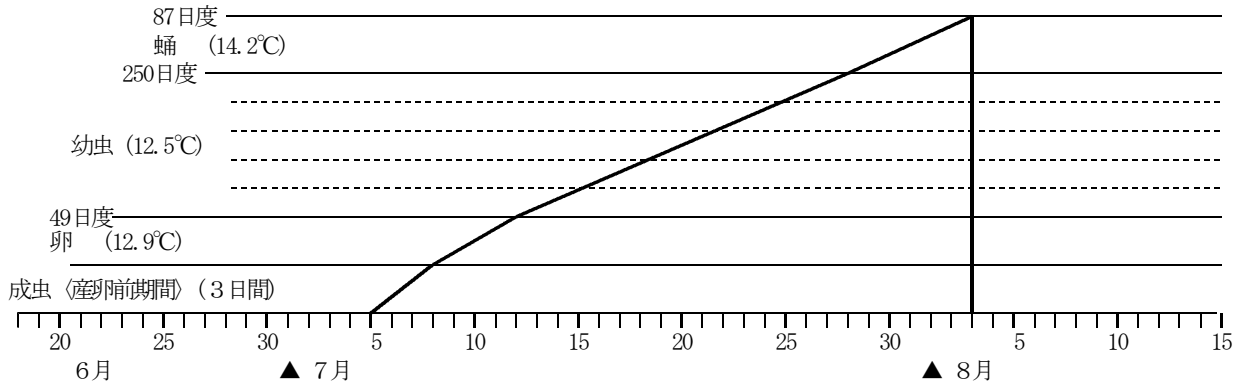
1. セジロウンカ



2. トビロウンカ



3. コブノメイガ



(注) 気温の低い地域では予測より1~2日程度遅くなる。

4 現状と今後の対応

- (1) セジロウンカのこれまでの飛来量と産卵痕被害は前年に比べて少ない。
- (2) トビロウンカのこれまでの飛来量も前年に比べ少ないが、増殖率が高いため、8月以降に急激に増殖し、9月以降に坪枯れ被害が発生する恐れがある。
トビロウンカの防除時期は、第2世代幼虫期の8月下旬が基本であるが、田植時期が早い場合や箱施薬剤の種類によっては、第1世代幼虫期の防除が必要となることもあるので、今後の発生状況に注意する。

- (3) コブノメイガの飛来量が多いが、箱施薬剤にプリンス剤を使用している場合は7月の防除は必要ないものと思われる。
箱施薬剤を使用している場合でも、田植時期が早い場合やプリンス剤以外の箱施薬剤を使用している場合は、今後、被害が予想されるので、必要に応じて補完防除を行う。
補完防除の適期は7月15～20日頃となる。
基幹防除は、8月の発蛾最盛日を目安に、第2～3世代幼虫を対象として行う。
上記の防除適期については、7月下旬の情報提供を予定している。
- (4) 今後も梅雨期間中はウンカ類、コブノメイガの飛来が続くものと思われる。大雨の後はほ場を見回り、ウンカ類成虫が株当たり10～15頭以上認められた場合は、被害防止のためできるだけ早く防除を行う。